

極密
密
院

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ
課税等ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關
係公文交換ノ件第一回審査委員會

昭和十一年五月四日(月曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

區
審
院

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

國務大臣

廣田内閣總理大臣

寺内陸軍大臣

林司法大臣

有田外務大臣

説明員

次田法制局長官

樋貝法制局参事官

青木對滿事務局次長

増田對滿事務局事務官

竹内對滿事務局事務官

機密院

山越對滿事務局事務官

堀内外務次官

桑島外務省東亞局長

栗山外務省條約局長

小林外務書記官

松本外務書記官

柳井外務書記官

北澤外務事務官

根道外務事務官

佐藤外務事務官

磯谷陸軍省軍務局長

町尻陸軍砲兵大佐

片倉陸軍歩兵少佐

長島司法次官

岩村司法省刑事局長

佐藤司法書記官

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣ス

廣田内閣總理大臣ヨリ本案ノ大綱ニ付、次テ有田外務大臣ヨリ其ノ要目ニ付説明アリ

金子顧問官ヨリ日本ニ於ケル治外法權撤廢ノ始末ニ付縷々陳述アリ本案ニ付テハ余程慎重ナル考慮ヲ要スベキ旨ヲ述べ滿洲國ニ於ケル邦人及英米佛獨魯國人數、駐滿日本軍ノ兵員數並ニ日系警察官吏ノ員數ニ關シ質問アリ外

務大臣、陸軍大臣及軍務局長ヨリ答辯アリ

次テ同顧問官ハ滿獨通商協定締結ノ實否ヲ質問シ外務大臣ヨリ答辯アリ

更ニ同顧問官ハ新國家ヲ承認セズレテ通商條約ヲ締結シソル事例、英蘇關係等ニ付外務大臣及條約局長トノ間ニ問答アリ又滿獨通商協定ノ性質滿洲國ニ於ケル獨人ノ治外法權等ニ付テ外務大臣トノ間ニ數次ノ問答アリ

次テ河合顧問官ヨリ滿洲國ノ對日態度ハ絶體ニ變セズトイフベカラザルニ由リ今ノ内ニ何ト

カ永久ノ策ヲ爲スノ要ナキヤトノ質問アリ外
務大臣ヨリ今日ヨリ斯ル場合ニ備フルノ考ナ
シトノ答辯アリ又條約局長ヨリ大正四年ノ日
支條約ニハ九十九年後ニ關東州租借地ヲ返ス
旨ノ規定ナシトノ答辯アリ

同顧問官ハ支那ニ於ケル帝國ノ治外法權ノ撤
廢時期及英米ノ態度ニ付質問アリ石井顧問
官ヨリ在滿日本臣民ハ課税及産業以外ノ行政
法令ニハ服スルノ義務ナキヤ第三國モ日本ノ
權利ニ均霑シ得ベキヤトノ質問アリ條約局長

及外務大臣ヨリ答辯アリ同顧問官ハ更ニ主要
ナル在滿外國人ノ國籍ヲ質シ條約局長及東
亞局長ノ答辯アリ

原顧問官ハ治外法權撤廢及行政權移讓ノ實
施豫定表、日本人警察官、稅務官及産業行政
官ノ配置状況ヲ問ヒ且滿洲國法令集覽ノ提示
ヲ要ム之ニ對シテ外務大臣及條約局長ヨリ答辯
アリ

元田顧問官ハ日系滿洲國官吏ノ治績如何ヲ質シ
原顧問官ハ滿洲國ニ於ケル邦人ノ散布状態ニ付

質問ニ外務大臣ノ答辯アリ

荒井委員長ハ本日ノ質問ハ之ニテ打切ル旨ヲ告
ゲ國務大臣及説明員ノ退席ヲ求ム

(國務大臣及説明員退席)

其ヨリ各委員間ニ雜談的ニ意見ノ交換アリ

荒井委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時五十分閉會)

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ
課税等ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關
係公文交換ノ件第二回審査委員會

昭和十一年五月五日(火曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原 顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

國務大臣

廣田内閣總理大臣

寺内陸軍大臣

林 司法大臣

有田外務大臣

説明員

次田法制局長官

樋貝法制局參事官

青木對滿事務局次長

増田對滿事務局事務官

山越對滿事務局事務官

和
密
院

柔島外務省東亞局長

栗山外務省條約局長

小林外務書記官

松本外務書記官

柳井外務書記官

北澤外務事務官

根道外務事務官

佐藤外務事務官

磯谷陸軍省軍務局長

片倉陸軍歩兵少佐

長島司法次官

岩村司法省刑事局長

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣ス

條約局長ヨリ滿洲國ノ課稅權及産業法規ノ運

區
密
院

用ニ關シ前來ノ説明ヲ補足ス

原顧問官ハ新聞記事ヲ朗讀シテ政府ガ之ヲ否認セルニ拘ラズ治外法權ノ撤廢ハコノ通ニ進行シタル旨ヲ述ベテ其ノ相違ヲ詰リ本案ノ施行ト第三國トノ關係ヲ質シ外務大臣ノ答辭アリ

次デ金子顧問官ヨリ米國ノ軍備擴張ハ滿洲國ノ門戶開放ヲ目標トセリ之ニ對スル當局ノ覺悟如何トノ質問アリ條約局長ノ答辭アリ

元田、原兩顧問官ヨリ滿洲國ノ對外宣言ノ責務ニ付質問アリ外務大臣ヨリ已ニ失效セリト考フル

旨ノ答辭アリ

次デ原顧問官ヨリ外務大臣及條約局長トノ間ニ税制ノ整理、本條約實施期日ヲ本年七月一日トセル理由等ニ付問答アリ

栗野顧問官ヨリ日本ノ特權ヲ外國人ニハ均霑セシメサルノ確信アリヤトノ質問アリ條約局長及外務大臣ノ答辭アリ

次デ陸軍大臣ヨリ日系官吏ノ治績及其ノ不評在滿日本人数等ニ關スル辯明アリ

元田顧問官ヨリ日滿兩國關係ハ不可分ナリト

云フ意識及滿洲國人ノ對日感情ニ付説明ヲ求
メ當局ノ説明アリ
荒井委員長爾餘ノ質問ハ之ヲ次回ニ譲ルベキ
旨ヲ告ゲ閉會ヲ宣ス

(午後四時十分閉會)

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課税等
ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關係公文交
換ノ件第三回審査委員會

昭和十一年五月十一日(月曜日)本院事務所ニ
於テ開會

出席者

平沼議長

審査委員長

荒井副議長

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

國務大臣

有田外務大臣

寺内陸軍大臣

林司法大臣

永田拓務大臣

説明員

次田法制局長官

樋貝法制局参事官

青木對滿事務局次長

増田對滿事務局事務官

竹内對滿事務局事務官

山越對滿事務局事務官

堀内外務次官

桑島外務省東亞局長

栗山外務省條約局長

小林外務書記官

松本外務書記官

柳井外務書記官

北澤外務事務官

根道外務事務官

佐藤外務事務官

磯谷陸軍省軍務局長

片倉陸軍歩兵少佐

岩村司法省刑事局長

佐藤司法書記官

下村司法書記官

高山拓務省拓務局長

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井審査委員長開會ヲ宣ス

元田顧問官ヨリ領事裁判權撤廢時期ノ見込ニ付
質問アリ外務大臣ノ答辯アリ次デ治外法權ノ
撤廢ト第三國トノ關係、日系官吏ノ治績、日滿兩
國臣民ノ關係等ニ付質問アリ陸軍大臣及對滿
事務局次長ヨリ詳細ナル説明アリ次デ拓務大
臣ヨリ移民ノ狀況ニ付説明アリ
原、元田兩顧問官ヨリ移民ノ土地ニ關スル權利

ニ付質問アリ拓務大臣及東亞局長ヨリ説明ア
リ
金子顧問官ヨリ移民會社所有ノ土地ニ付質問
アリ東亞局長ヨリ答辯アリ更ニ商租權ノ性質
ニ付質問アリ條約局長及東亞局長ヨリ答辯ア
リ
清水顧問官ヨリ不當課税ニ對スル救濟制度ノ有
無及滿洲國ニ於ケル立憲制度施行ノ時期及帝
室典範ノ制定ニ關スル質問アリ陸軍大臣ヨリ
之ニ對スル答辯アリ

次デ同顧問官ヨリ裁判所ノ構成及滿鮮不和ノ原因ニ關スル質問アリ司法大臣及拓務大臣ノ説明アリ

金子顧問官ヨリ居留民ノ本件條約ニ對スル意見、警察權移讓後ノ治安、滿洲人ノ裁判能力等ニ付多數ノ質問アリ外務大臣一々之ニ答フ更ニ同顧問官ヨリ警察權移讓ノ時期ヲ質問、治外法權ノ撤廢ハ治安ノ情況ニ鑑ミ漸進的ナランコトヲ希望シ且滿洲國ノ裁判官タル日系官吏ノ國籍ヲ問ヒ日系官吏精選ノ必要ヲ述べ治外法權

ノ撤廢ハ憲法其ノ他ノ諸法典施行後始メテ實行スベキモノニアラスヤトノ質問アリ陸軍大臣ヨリ答辯アリ

荒井委員長ヨリ右ヲ以テ本日ノ質問ヲ打切り閉會スル旨ヲ述べ

(午後四時四十分閉會)

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課稅等
ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關係公文交
換ノ件第四回審査委員會

昭和十一年五月十三日(水曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

國務大臣

廣田内閣總理大臣

有田外務大臣

寺内陸軍大臣

林司法大臣

説明員

樋貝法制局參事官

青木對滿事務局次長

増田對滿事務局事務官

山越對滿事務局事務官

堀内外務次官

桑島外務省東亞局長
栗山外務省條約局長
小林外務書記官
松本外務書記官
柳井外務書記官
北澤外務事務官
根道外務事務官
佐藤外務事務官
磯谷陸軍省軍務局長
町尻陸軍砲兵大佐

片倉陸軍歩兵少佐
岩村司法省刑事局長
佐藤司法書記官
下村司法書記官

村上書記官長
堀江書記官
武藤書記官

(午後一時四十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣ス

陸軍大臣ヨリ滿洲國組織法及人權保護法ニ付説明アリ

河合顧問官ヨリ滿洲國ニ於ケル第三國ノ治外法權的地位ノ解消ニ對スル當局ノ決意ヲ質シ外務大臣及條約局長ヨリ答辯アリ

金子顧問官ヨリ日滿不可分ノ英譯方ヲ質シ外務大臣ヨリ答辯アリ

河合顧問官ヨリ第三國人ニ對スル治外法權的地位ノ撤去ノ時機ヲ質シ外務大臣ノ答辯アリ

金子顧問官ヨリ米國カ日本ト均等ノ權利ヲ要求スル場合ノ處置ニ關シ質問アリ外務大臣ノ答辯アリ

原 顧問官ヨリ日本カ領事裁判權ヲ撤廢シタル後ニ於テハ實力ニ訥フルモ何レノ國ニ對シテモ之ヲ撤廢セシムルノ覺悟ヲ要スベキ旨所見ノ陳述アリ更ニ同顧問官ハ滿洲國ノ政治ハ窮極滿洲國人ヲシテヤラセル考ナリヤト問ヒ外務大臣ノ答辯アリ陸軍大臣ヨリ滿洲國ト我國トノ關係ハ絶体ナル旨ヲ述ブ

次デ外務大臣ヨリ曩ノ金子顧問官ノ英譯方ノ
質問ニ答ヘ内閣總理大臣ノ之ニ關スル補足的說
明アリ

石井顧問官ヨリ本條約ノ效力ハ領事裁判權撤
廢マデト見テ可ナリヤトノ質問アリ條約局長
トノ間ニ問答ヲ重ヌ次デ同顧問官ハ南滿洲鐵
道附屬地ニ於ケル日本ノ行政警察權及消費稅
ニ關スル規定ヲ何故本附屬協定ニ記載セルヤ
ト其ノ主旨ヲ質問シ條約局長及東亞局長ノ答辯
アリ

荒井委員長ハ右ヲ以テ質問終了ト認メ國務大臣
以下ノ退席ヲ求ム

(國務大臣及説明員退席)

其ヨリ各委員間ニ所見ノ交換アリ

荒井委員長ハ尚本會ハ繼續スベキ旨ヲ告ゲテ閉
會ヲ宣ス

(午後五時十分閉會)

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課稅等
ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關係公文交
換ノ件第五回審査委員會

昭和十一年五月十五日(金曜日)本院事務所

ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

監
審
統

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

國務大臣

廣田内閣總理大臣

有田外務大臣

寺内陸軍大臣

林司法大臣

説明員

次田法制局長官

樋貝法制局參事官

青木對滿事務局次長

増田對滿事務局事務官

山越對滿事務局事務官

堀内外務次官

桑山外務省東亞局長

栗山外務省條約局長

小林外務書記官

松本外務書記官

柳井外務書記官

北澤外務事務官

根道外務事務官

佐藤外務事務官

磯谷陸軍省軍務局長

片倉陸軍歩兵少佐

岩村司法省刑事局長

佐藤司法書記官

下村司法書記官

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣ス

有田外務大臣ヨリ行政警察權ノ移讓ニ付説明アリ
金子顧問官ヨリ滿洲國ニ於ケル外國人ノ居留地及高
阜地居住者ノ課税ニ關シ質問アリ東亞局長及對
滿事務局次長トノ間ニ數回ノ問答ヲ重ヌ
次デ東亞局長ヨリ在滿邦人ニ對スル滿洲國ノ課税
ニ關スル居留民ノ意見ニ付詳細ナル説明アリ
金子顧問官ヨリ邦人ノ土地所有權ノ範圍及「スタン
ダード」石油會社ノ石油販賣ニ付質問アリ東亞局
長之ニ答フ

元田顧問官ヨリ居留民ノ法權撤廢ニ關スル意見
ニ關シ質問アリ條約局長ノ答辯アリ
次デ河合顧問官ヨリ日滿人ノ融和ニ付所見ヲ陳
述シ附屬地ノ課税權ニ付質問アリ外務大臣及
對滿事務局次長ヨリ之ニ答フ

同顧問官ハ更ニ支那ノ治外法權ニ關スル八箇
國委員會ニ關シ質問アリ條約局長ノ答辯アリ
元田顧問官ヨリ支那ニハ税吏ハ盜賊ヨリモ怖シト
イフ誇アリ課税權ノ讓渡ハ反テ日滿人ノ融和ヲ
害スル結果トナルナキヤヲ憂フル旨ノ陳述アリ條約

局長ヨリ答辯アリ

原顧問官ヨリ高祖權ノ内容、取得ノ目的及附屬地ノ土地所有權等ニ付質問アリ條約局長ノ答辯アリ

次テ金子顧問官ハ滿洲國ニ會社法ノ有無ヲ質問シ條約局長及東亞局長ヨリ答辯アリ

原顧問官ヨリ第三國人ト滿洲國ノ鑛業權トノ關係ニ付條約局長トノ間ニ問答アリ

荒井委員長ヨリ鑛業法改正ノ意アリヤトノ質問アリ條約局長ノ答辯アリ

金子顧問官ヨリ第三國人モ日本人ノ特權ニ均霑スルコトヲ要求スルコトナキヤヲ質問シ内閣總理大臣及條約局長ヨリ答辯アリ

原顧問官ヨリ昭和十一年度ニ於テ日本人ヨリ徴收スル税額及本條約ヲ七月一日ヨリ急キ施行セントスル主意ニ付質問アリ對滿事務局次長及條約局長ヨリ答辯アリ更ニ同顧問官ヨリ納稅義務者ノ數、取引所ノ有無及滿洲國ノ領域ノ意義等ニ付質問アリ主トシテ條約局長説明ニ當ル次テ同顧問官ハ警察制度ノ整備ノ意義、未ダ制

相
密
院

度ノ整備セサルニモ拘ラズ警察權ヲ移讓セント
スル理由及其ノ豫約ヲ必要トスル理由等ニ付質問
ヲ連發シ條約局長ヨリ答辯アリ

次デ元田顧問官ヨリ租税ニ付質問アリ條約局長
及東亞局長ヨリ答辯アリ

清水顧問官ヨリ行政諸法令ノ立法ト日本トノ
關係ニ付質問アリ條約局長ノ説明アリ

次デ内閣總理大臣ヨリ概括的ニ本件ニ付辯明ス
ルトコロアリ

荒井委員長ハ右ヲ以テ本日ノ質問ヲ打切り閉會

ヲ宣ス

(午後五時閉會)

臨
密
院

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課稅等
ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關係公文交
換ノ件第六回審査委員會

昭和十一年五月二十日(水曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

國務大臣

廣田内閣總理大臣

有田外務大臣

寺内陸軍大臣

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣シ委員ト國務大臣トノ隔意

極密

ナキ懇談ヲ爲サンコトヲ希望ス

金子顧問官ヨリ樞密院創設當初ニ於テハ重要案件ニ付テハ樞密院ニ審査委員會ヲ設ケ委員ト大臣トカ膝ヲ交ヘテ隔意ナキ懇談ヲ遂グルノ例ナリキ斯克テコソ樞府制度設置本來ノ精神ニ合致スルモノナル旨ヲ強調シ殊ニ大權事項ニ屬スル條約締結ニ關シテハ其ノ必要アリト説キ滿洲國ニ於ケル治外法權撤廢ノ順序ヲ問ヒ内閣總理大臣及外務大臣ノ辯明アリ

同顧問官ハ更ニ閣議決定ノ内容、滿洲國法典ノ

整備狀況及治安狀況ニ付質問ヲ爲シ外務大臣及陸軍大臣ヨリ答辯アリ

金子顧問官ハ滿洲國ヲ獨立國トシテ盛立テタル以上自己ノ軍隊ヲ以テ治安ヲ維持スルガ相當ナラズヤトノ質問アリ同大臣ノ答辯アリ同顧問官ハ更ニ朝鮮ガ何故容易ニ併合セラレタルカニ付説明ヲ試ミ米國ノ軍備擴充ノ目的ヲ付度シ且明治天皇ノ滿洲問題ニ對スル御軫念ノ程ヲ語り法權撤廢ハ一旦閣議ニ於テ如何ナル決定ヲ爲シタルニセヨ漸進的ニ行フベキニアラズヤトノ所見ヲ陳述シ陸

秘密

軍大臣ハ之ニ對シテ日滿融和ノ爲メ之ヲ必要トス
ル旨ヲ答ヘ二人ノ間ニ問答アリ

次テ原顧問官ヨリ條約局長ハ外國人ニハ日本人
ノ享クル利益ニ均霑セシメズト答辯セラレタルガ
唯今ノ大臣ノ説明ハ其レト異ナルガ如シ正否孰
ニ在リヤトノ質問アリ外務大臣トノ間ニ問答ア
リ

金子顧問官ハ國際關係ノコトハ極メテ慎重ヲ要
スルコトヲ強調シ其ノ過誤ハ大臣ノ辭職位ニテ
追付クモノニアラズト論ジテ政府ノ再考ヲ求ム

之ニ對シテ内閣總理大臣ノ答辯アリ

元田顧問官ハ滿洲問題ニテ窮極英米ト衝突スル
モノナラバ大ニ考慮セザルベカラザルコトナリト論
ジテ國務大臣ノ所見ヲ求メ内閣總理大臣ノ答
辯アリ同顧問官ヨリ更ニ七月一日ヨリ本案ノ
條約ヲ實施セバ滿洲國民ハ果シテ悦服スベキヤ
否ヤ又司法制度ノ形式ハ急速ニモ整備シ得ンモ
其ニテ果シテ滿人ノ悦服ヲ期シ得ベキヤトノ質問
アリ内閣總理大臣ノ之ニ對スル答辯アリ
金子顧問官ヨリ亦ダ治安モ完カラザル地方ニ治

秘密
院

外法權ヲ撤廢スルハ可ナル所以ヲ知ラズト陳述
シ今日實際邦人ノ居ル所ニ領事及兵隊ヲ置キ
テ法權ヲ撤廢スルヲ可トセズヤトノ質問アリ内
閣總理大臣及外務大臣トノ間ニ數次ノ問答アリ
原顧問官ヨリ治外法權ノ撤廢ヲ急グ必要ヲ質
シ内閣總理大臣ノ答辯アリ

元田顧問官ヨリ駐英吉田大使ニ對スル訓令ニ付
質問アリ外務大臣ノ辯明アリ

原顧問官ヨリ中央政府ノ態度ト北支トノ關係
ニ付質問アリ外務大臣及陸軍大臣ノ答辯アリ

荒井委員長ハ以上ヲ以テ質問ヲ打切り閉會ヲ宣
ス

(午後四時四十分閉會)

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課稅等
ニ關スル日本國滿洲國間條約締結茲關係公文交
換ノ件第七回審査委員會

昭和十一年五月二十二日(金曜日)本院事務所
ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

極密

極密

極密

極密

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣ス

金子顧問官ヨリ本委員會ノ審議ニ關スル「アト

バタイザ」紙ノ記事ノ朗讀アリ

河合顧問官ハ日滿一體タランガ爲メニハ日滿臣

民融和ノ必要アルコトヲ強調シ第三國トノ關係

區
密
記

ノ面倒ハ覺悟ノ上本案ハ警告附ニテ之ヲ承認
スルヲ可トスベシト述ベ

原顧問官ハ税法ト産業法規トノ適用ハ可ナレド
モ行政警察ノ移讓ハ尚早ニシテ協定第四條ニ
於テ其ノ期日ヲ定メタルハ失當ナリトシ更ニ領
事裁判權撤廢ニ付豫約等ヲ爲スコトアルベカラ
ズト論ジ

元田顧問官ハ日滿ノ干係ニ於テ兩國民ノ融和ト
第三國トノ干係が最モ大切ナルが今日ハ最後ノ決
心ノ下ニ之ヲ斷行スルノ時期ナルベシ尤モ領事裁

判權ノ撤廢ノ期限ヲ豫約スルガ如キハ絶體ニ及
對ナリト述ベ

平沼議長ヨリ本條約ハ未調印ナル旨ノ注意アリ
石井顧問官ハ邦人が税法及産業法規ノ適用ヲ受
クルコトハ日滿融和上必要ナルベク本條約ハ時宜ニ
適シタリト考フト述ベ

栗野顧問官ハ日本ニ於ケル米國ノ治外法權撤廢
ニ關スル體驗談ヲ爲シ

原顧問官ハ日滿人ノ融和ハ大切ナレドモ税法適
用ノ狀況ヲ視テ徐々警察權ノ移讓其ノ他ニ及

ブラ萬全ナリト信スル旨ヲ述ベ

清水顧問官ハ心配ノ點ナキニアラザルモ本案ハ此ノ儘承認スルヲ可ナリト考フト述ベ

有馬顧問官モ亦本案ニ賛成ス但シ協定第四條ノ期日ニ付テハ多數ノ意見ニ從フベキ旨ヲ述ベ

次デ金子顧問官ハ法權ノ撤廢ハ漸進的ニ之ヲ行フベク協定第四條ノ期限ハ之ヲ除去シタキ旨ヲ述ブ

石井顧問官ハ本案協定ハ事實上已ニ兩國代表者間ニ成立シタルモノナレバ之ヲ變更スルコトニ

付テハ本院ハ大ニ考慮ヲ要スベシト述ベ此ノ點ニ關シ更ニ金子石井兩顧問官ヨリ意見ノ陳述アリ

元田顧問官ハ警察權移讓期日ノ契約ニ付當局ニ注意スルハ可ナレドモ強テ本條約ヲ訂正セシムルコトニハ及バザル可シト述ベ

金子顧問官ハ議長ヨリ期日ニ關スル規定ノ削除方ヲ交渉シテ貰フテハ如何ト提議シ且領事裁判權ノ撤廢ニ付テハ御諮詢ノ上實施期日ヲ定ムルヤウニシタシト述ブ

次デ委員長ハ本案ハ警告ヲ附テ此ノ儘之ヲ認
メルコトノ可否ヲ詢リ審査報告案出來スレバ今
一度本會ヲ開クベキ旨ヲ告ゲテ閉會ヲ宣ス
(午後五時十分閉會)

相
密
院

滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課税等
ニ關スル日本國滿洲國間條約締結並關係公文交
換ノ件第八回審査委員會

昭和十一年五月二十八日(木曜日)本院事務
所ニ於テ開會

出席者

平沼 議長

審査委員長

荒井 副議長

樞
密
院

審査委員

金子顧問官

河合顧問官

石井顧問官

有馬顧問官

原顧問官

栗野顧問官

元田顧問官

清水顧問官

村上書記官長

堀江書記官

武藤書記官

(午後一時三十分開會)

荒井委員長開會ヲ宣シ書記官ヲシテ審査報告

案ヲ朗讀セシム

(堀江書記官朗讀)

各委員ヨリ夫々所見ノ陳述アリ結極案文中ノ三箇所ニ付若干ノ修正ヲ加ヘ全會一致ヲ以テ議決

樞密院

ス

乃今荒井委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時三十分閉會)

相
密
院

日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル
協定締結並關係公文交換ノ件審査委員會

昭和十一年六月十五日(月曜日)本院事務所

ニ於テ開會

出席者

平沼議長

荒井副議長

審査委員長

櫻井顧問官